

2006年6月15日

PDP用ガラス基板の製造能力増強を決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社(本社:東京、社長:門松正宏)は、今般PDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)用ガラス基板の製造能力を増強することを決定しました。関西電力大阪発電所跡地(大阪市住之江区)に、第1期として約150億円を投資し、PDP用大型ガラス基板の加工工場を新設します。新工場は本年8月頃に着工、2007年5月頃に量産開始の予定です。

PDP用パネルの台数は、2006年の980万台から2009年の1700万台まで、年平均20%程度の成長が予想され、これに伴い、今後もPDP用ガラス基板の需要が大幅に増加することに加え、ガラス基板の大型化が更に進むことが見込まれます。

当社は、これまでガラス基板の需要増加に応じて製造能力アップを図ってきましたが、今後の更なる需要の拡大及びガラス基板の大型化に対応するため、大型ガラス基板の切断・端面処理、ITO成膜などを行う加工工場を新設することとしたものです。立地については、大阪府並びに大阪市の誘致もあり、土地賃借により早期の建設が可能であり、かつ既存のインフラ活用などの面で効率的な立地条件を備えている、関西電力大阪発電所跡地を選定いたしました。

当社は、1996年に関西工場において世界で初めてPDP用ガラス基板(PD200)の生産を開始しており、現在においても世界シェア約80%を持っています。今後も積極的な設備投資を実施し、お客様への安定供給を図るとともに、より高い品質・技術・サービスを提供していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先:旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

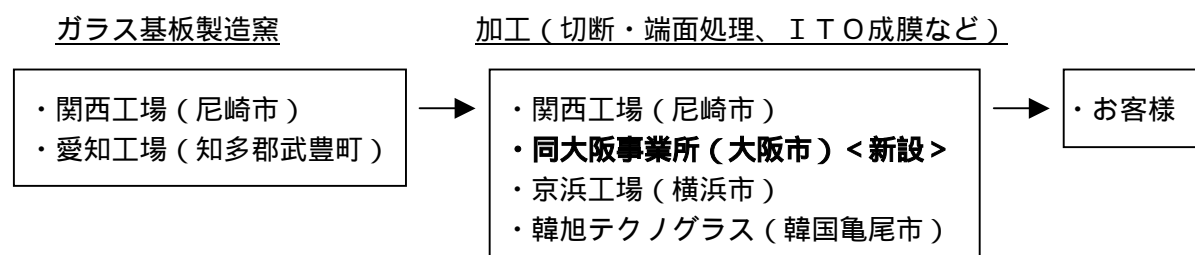
(担当:斎藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp)

<ご参考>

・新工場の概要

- (1) 名称 (仮称) 関西工場大阪事業所
- (2) 所在地 大阪市住之江区平林北
- (3) 投資金額 約150億円(第1期)
- (4) 着工 2006年8月(予定)
- (5) 量産開始 2007年5月(予定)
- (6) 敷地面積 40,000㎡(第1期)
- (7) 事業内容 PDP用ガラス基板の加工

・当社PDP用ガラス基板製造フロー



愛知工場の製造窯ではPDP用ガラス基板と自動車用ガラス素板を併産